

第41回 景気動向アンケート報告

(2015年1月～4月期)

＜今期DI値は+12で前年同期比▲12ポイント、来期は▲9で前年同期比▲18予測＞

○全体業況判断DI（好転企業数－悪化企業数）÷回答企業数の%、2010年からの推移表

年	各期DI推移				年3期DI平均値推移	
	1-4月（今期）		5-8月	9-12月	年毎平均値	前年比
	DI	前期比				
2015	+12	▲12	(▲9) (予測)	-	-	-
2014	+24	+16	+9	+6	+13.0	▲3.6
2013	+8	▲11	+16	+26	+16.6	+11.0
2012	+19	+32	▲6	+4	+5.6	+11.9
2011	▲13	▲12	▲13	+7	▲6.3	+3.7
2010	▲1	+32	▲22	▲7	▲10.0	+20.3

- 鹿児島の中小企業家の業況判断は、今期(2015年1-4月期)DI+12で、前年(2014年)同期の+24に比べ▲12ポイント悪化。これで前々期(2014年5-8月期)の前年同期比▲7、前期(同年9-12月期)の前年同期比▲20に続いて3期連続の前年同期比での悪化。
来期(2015年5-8月期)予測DIは▲9で、前年同期比▲18と4期連続の前年同期比悪化の予測。仮に、予測通りマイナスのDI値となった場合、2012年5-8月期の▲6以来、3年ぶり。
- 個別指標の今期実績は、売上DI+12、収益DI+12、資金繰りDI+19とほぼ業況判断と整合している。資金繰りは、金融機関の貸出し姿勢の緩和傾向もあってか、ややゆとりがある。
- 業種別業況DIの前期、今期、来期(予測)の推移を見ると、連続改善の業種は、事業所向けサービス業DI±0→+14→(+20)のみ。逆に連続悪化の業種は、個人向けサービス業DI+36→±0→(▲25)、製造業DI±0→▲10→(▲50)の2業種。他の3業種は、建設業DI+12→+22→(▲10)、小売業DI▲17→+16→(▲7)、卸売業DI▲25→+50→(±0)と改善、悪化のパターン。
- 景気減速傾向は既に取りざたされており、中央や地元の各種調査指標にも数値的に表れている。本調査の数値もこれらと軌を一にしている。来期以降好転するという強気の予測もあり、期待感もあるが、中小企業家としては、警戒レベルを一段上げるべき調査結果となっている。

概 要

経営上の問題点

「経営上の問題点」として経営者が注視している点は、“受注競争の激化”(31point)、“仕入れ価格の上昇”(24point)が挙げられた。円安影響から材料コストが上昇し、そのことが競争激化を招いているものと予想される。次に問題点として注視している点は“従業員不足”(27point)となっている。若手人材が都市部に流れていることや少子高齢化が地方にとって大きく影響しているものと思われる。

経営上の力点

「経営上の力点」として経営者が注視している点は“付加価値の増大”(35point)と“新規受注(顧客)の確保”(34point)が最も高かった。新しい付加価値を創造することで、少子高齢化による人口減少という市場背景に対して新たな市場開拓を模索しているものと思われる。

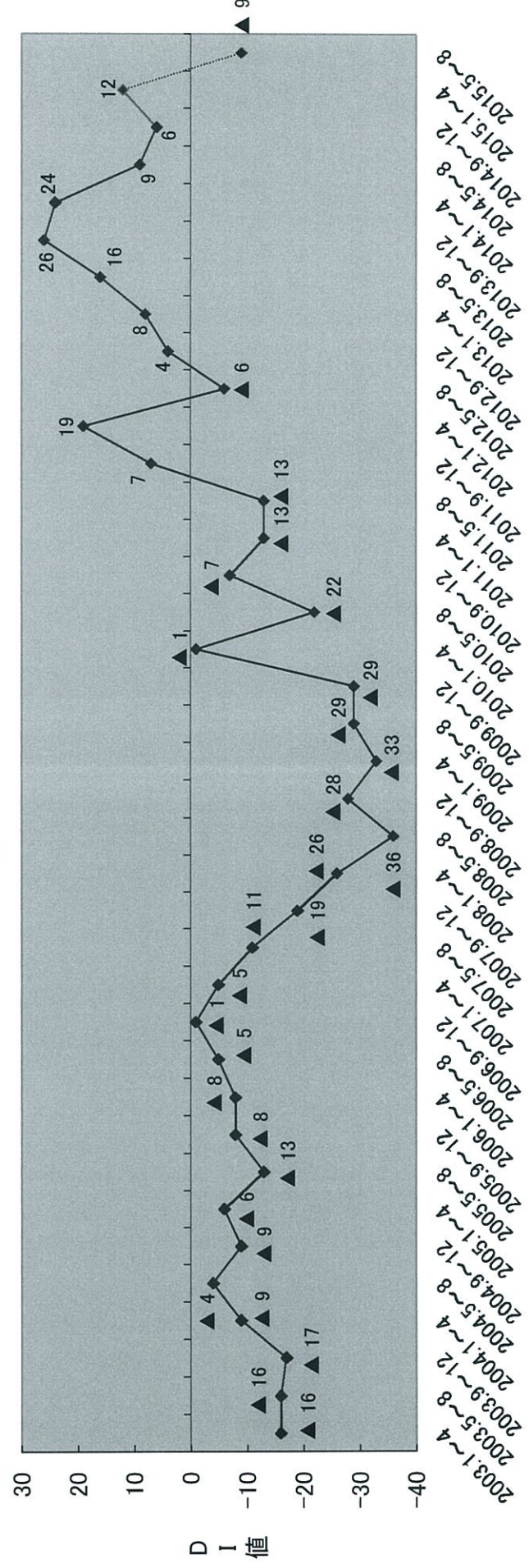
国のマイナンバー制度導入について

対策まで進んでいる企業は、7.5%とごく少数に留まり、大半の67.7%が大体知っているという段階。不知も24.7%あるが、その内7割強は興味を持っている。企業経営への影響、関係性を71.2%の企業が理解している中、具体的な対策や詳細な情報収集という面では、追いついていないという現状が明らかとなった。対策の具体例としては、専門家との打合せ、情報セキュリティ強化等のシステム変更、社内研修、顧客への周知の他、預金口座対策なども挙げられた。



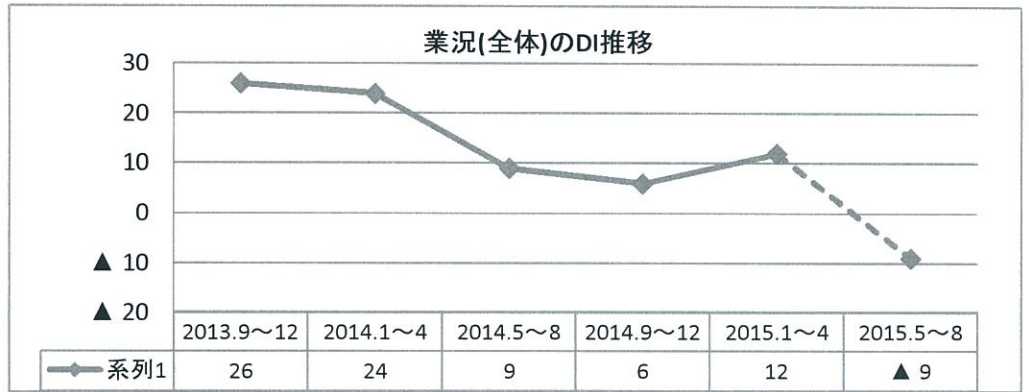
1. 対象企業 鹿児島県中小企業家同友会会員企業（280社）
2. 対象期間 2015年1月～4月期実績、2015年5月～8月見通し
3. 調査方法 FAXによる自計記入を求めた
4. 回答企業数 88社より回答を得た 回答率:31.4%

全体の業況

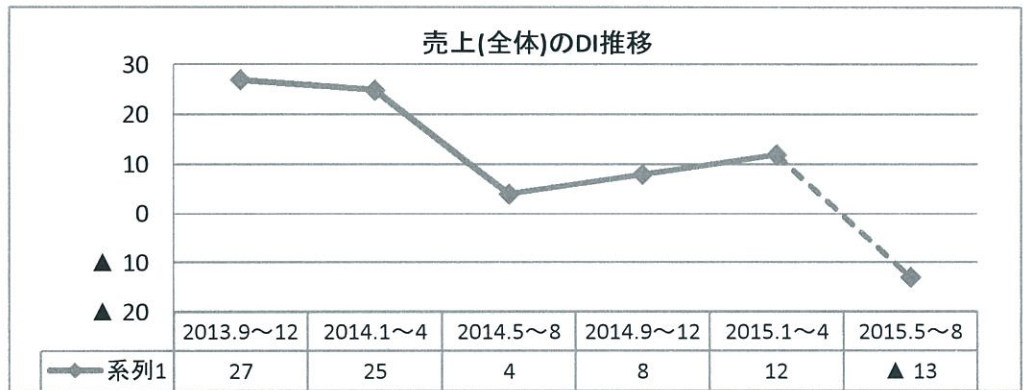


全体

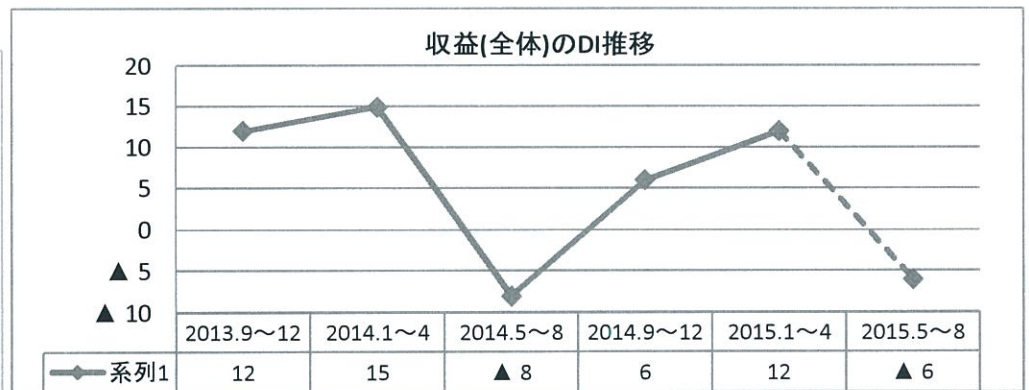
今期の業況は「良い」33.7%、「変わらず」44.6%、「悪い」21.7%でD.I.12となっており、前期に比べ、やや上昇しています。
来期の業況はD.I.▲9と大きく落ち込む見通しです。



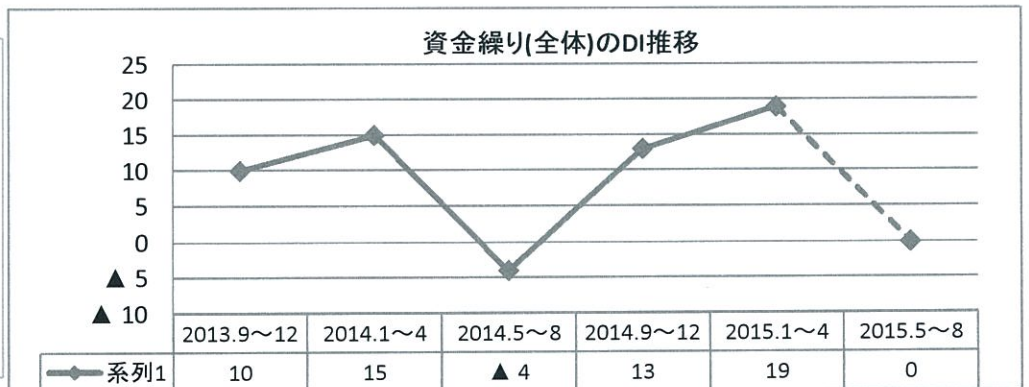
今期の売上は「良い」31.3%、「変わらず」49.4%、「悪い」19.3%でD.I.12となっており、前期(8)に比べ、やや上昇しています。
来期の売上はD.I.▲13と大きく落ち込む模様です。



今期の収益は「良い」30.1%、「変わらず」51.8%、「悪い」18.1%でD.I.12となっており、前期(6)に比べやや上昇しています。
来期の収益はD.I.▲6と大きく落ち込む模様です。

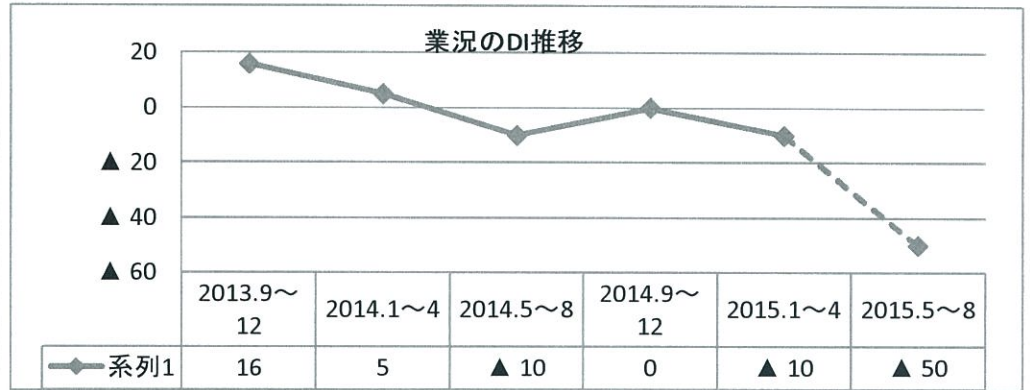


今期の資金繰りは「良い」25.3%、「変わらず」68.7%、「悪い」6.0%でD.I.19となっており、前期(13)に比べ微増となっています。
来期の資金繰りはD.I.0と大きく落ち込む模様です。

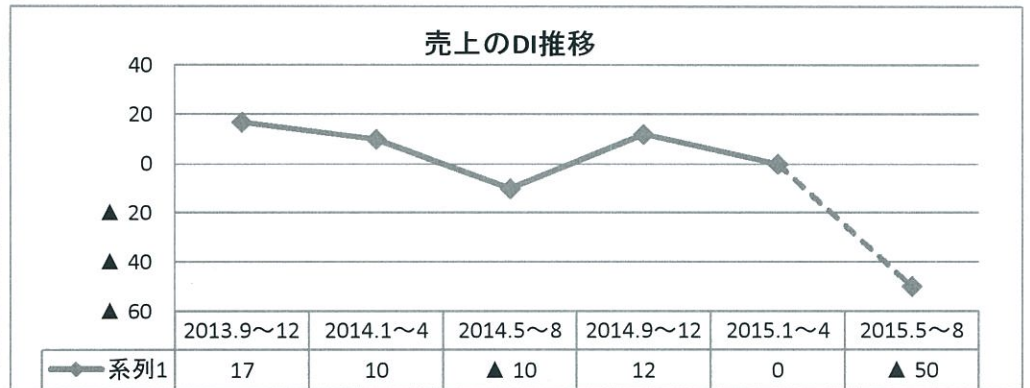


製造業

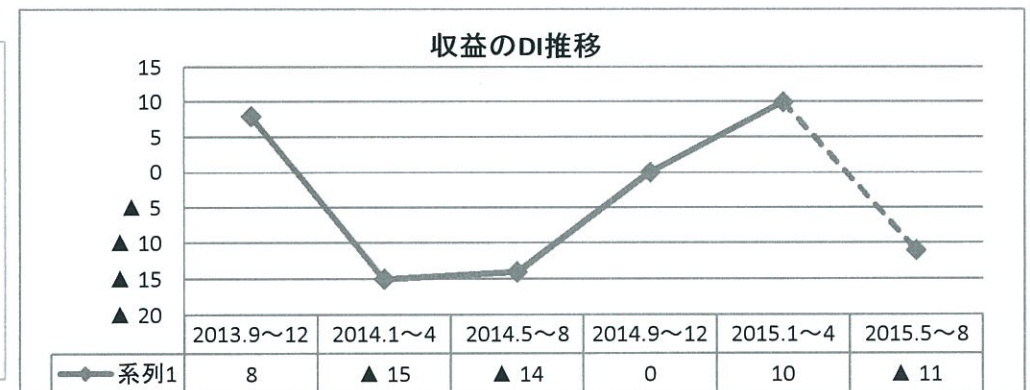
今期の業況は「良い」20.0%、「変わらず」50.0%、「悪い」30.0%でD.I.▲10となっており、前期(0)に比ダウンしています。来期の業況はD.I.▲50と大幅にダウンする見通しです。



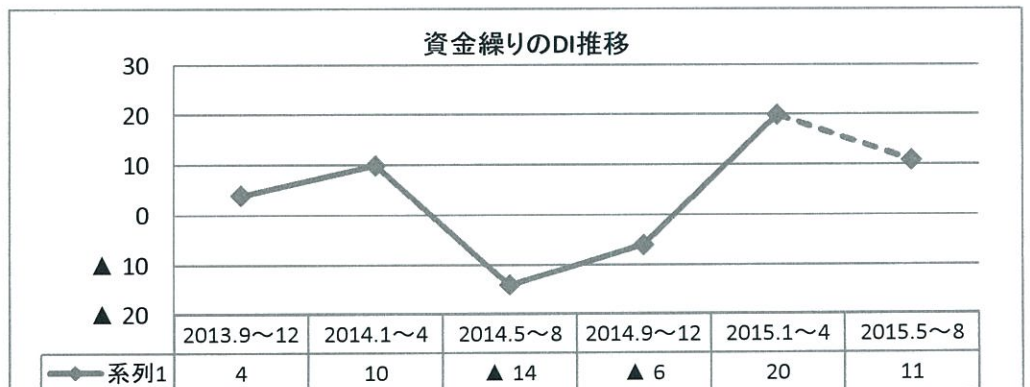
今期の売上は「良い」40.0%、「変わらず」20.0%、「悪い」40.0%でD.I.0となっており、前期(12)に比べ下降状況となっています。来期の売上はD.I.▲50と大幅に悪化する見通しです。



今期の収益は「良い」30.0%、「変わらず」50.0%、「悪い」20.0%でD.I.10となっており、前期(0)に比べ改善しています。しかし来期の収益はD.I.▲11と大きくダウンする見通しとなっています。

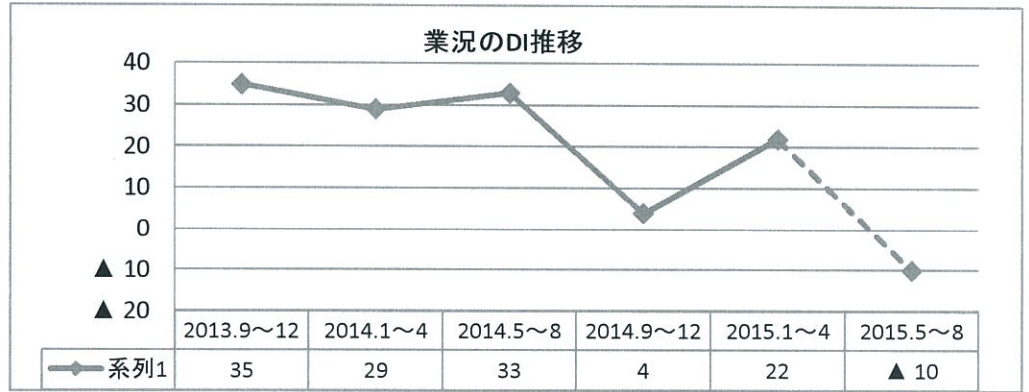


今期の資金繰りは「良い」20.0%、「変わらず」80.0%、「悪い」0%でD.I.20となっており、前期(▲6)に比べ大きく改善しています。しかし来期の資金繰りはD.I.11と多少下降ぎみとなっています。

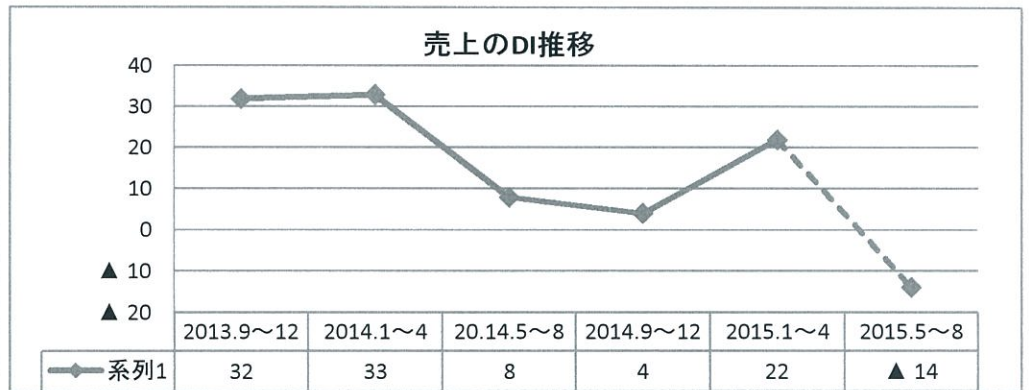


建設業

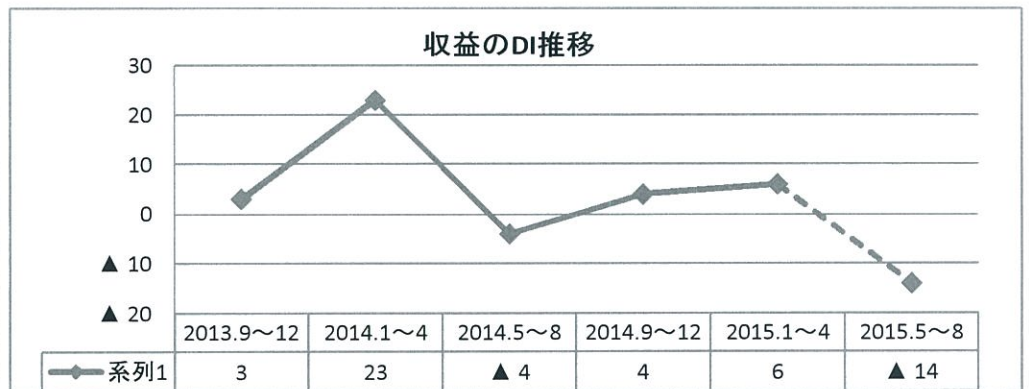
今期の業況は「良い」40.7%、「変わらず」40.7%、「悪い」18.6%でD.I.22となっており、前期(4)に比べ上昇しました。来期の業況はD.I.▲10と大幅に落ち込む模様です。



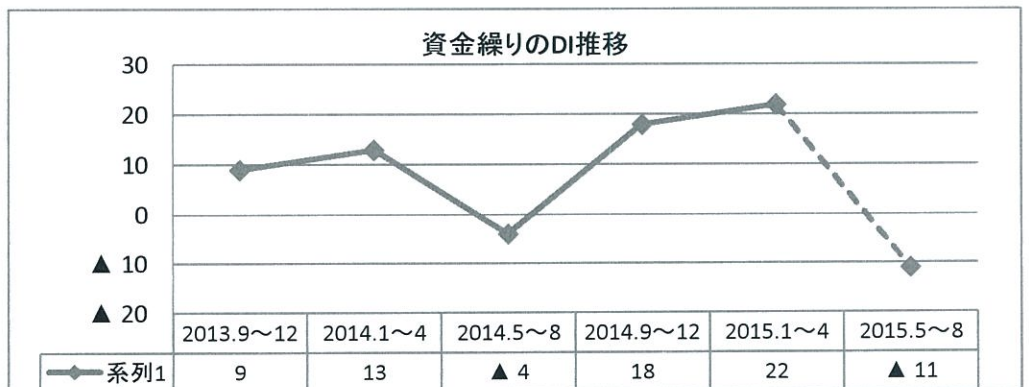
今期の売上は「良い」37.0%、「変わらず」48.1%、「悪い」14.9%でD.I.22となっており、前期(4)に比べ上昇しています。来期の売上はD.I.▲14と大幅に落ち込む模様です。



今期の収益は「良い」40.7%、「変わらず」44.4%、「悪い」14.9%でD.I.6となっており、前期(4)に比べ微増となっています。来期の収益はD.I.▲14と大幅に落ち込む模様です。

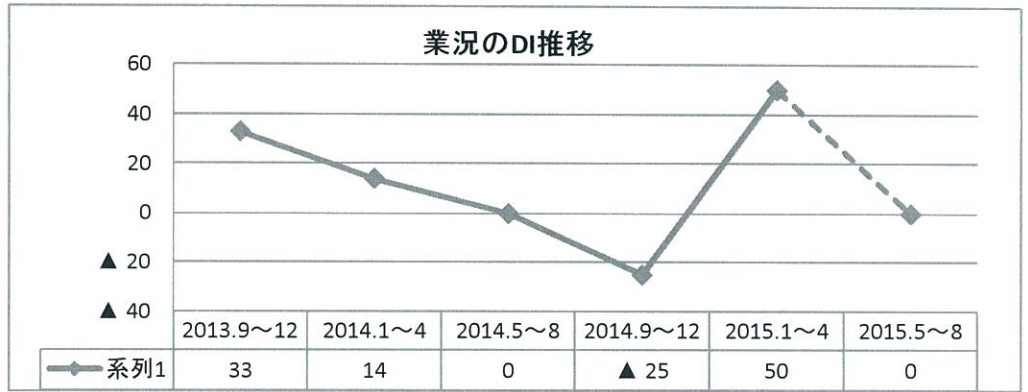


今期の資金繰りは「良い」29.6%、「変わらず」62.9%、「悪い」7.5%でD.I.22となっており、前期(18)に比べ微増となっています。来期の資金繰りはD.I.▲11と大幅に落ち込む模様です。

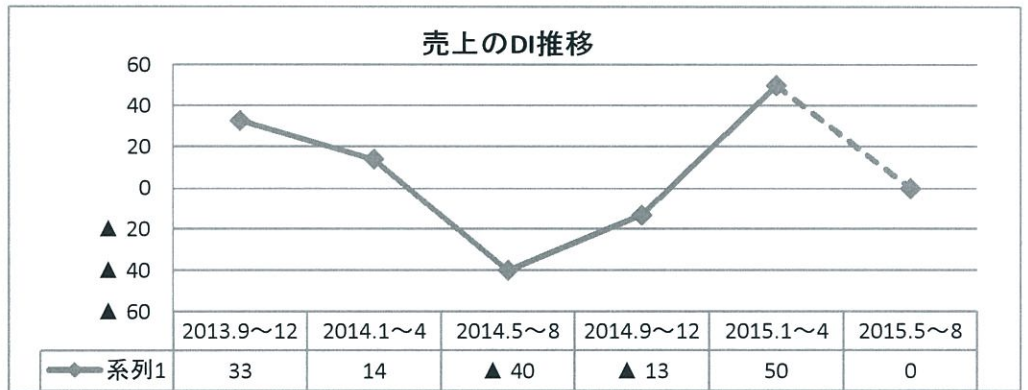


卸売業

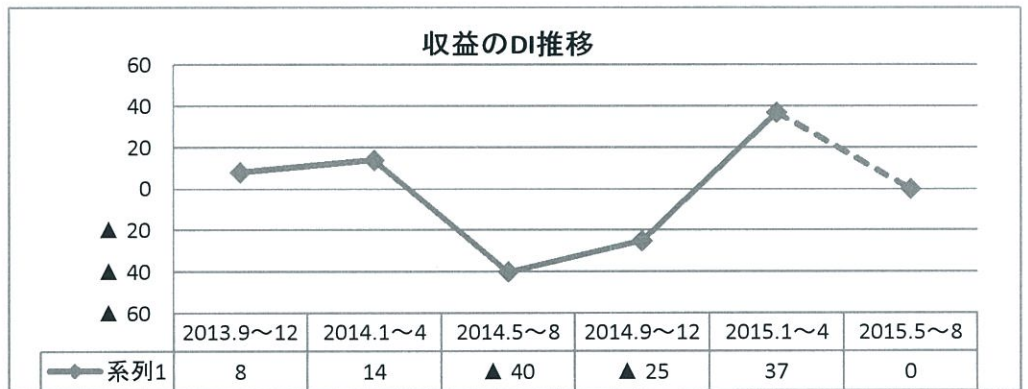
今期の業況は「良い」50.0%、「変わらず」50.0%、「悪い」0%でD.I.50となっており、前期(▲25)に比べ大幅に上昇しています。しかし来期の業況はD.I.0と再び大きく下降する見通しとなっています。



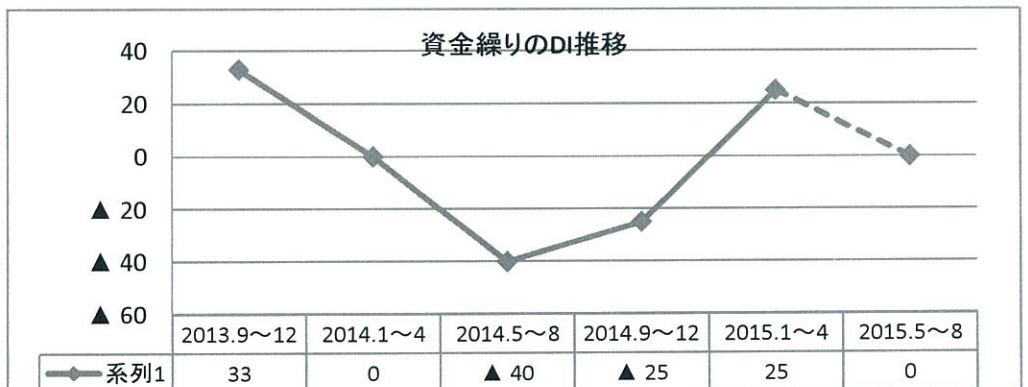
今期の売上は「良い」50.0%、「変わらず」50.0%、「悪い」0%でD.I.50となっており、前期(▲13)に比べ大幅に改善しています。しかし来期の売上はD.I.0と再び落ち込む模様です。



今期の収益は「良い」37.5%、「変わらず」62.5%、「悪い」0%でD.I.37となっており、前期(▲25)に比べ上昇しています。来期の収益はD.I.0と再びマイナスの模様です。

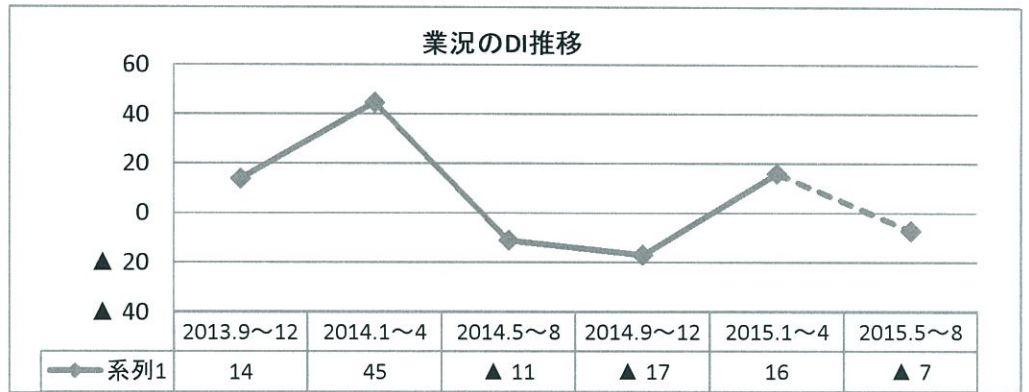


今期の資金繰りは「良い」25.0%、「変わらず」75.0%、「悪い」0%でD.I.25となっており、上昇しています。来期の資金繰りはD.I.0と下降する見通しとなっています。

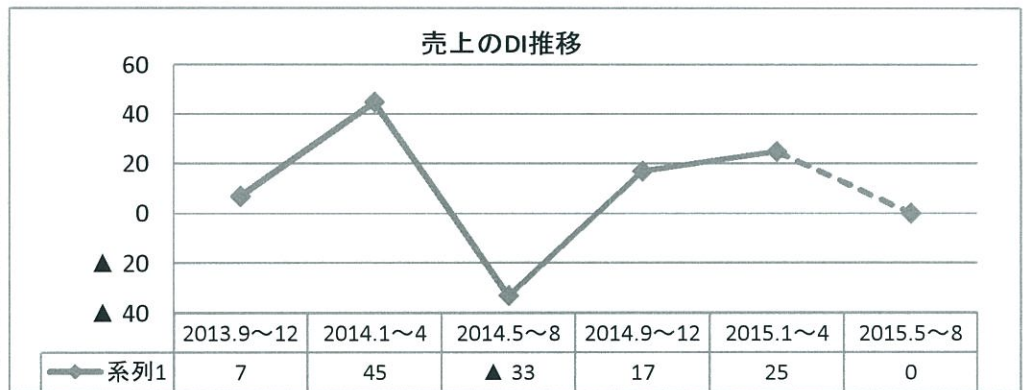


小売業

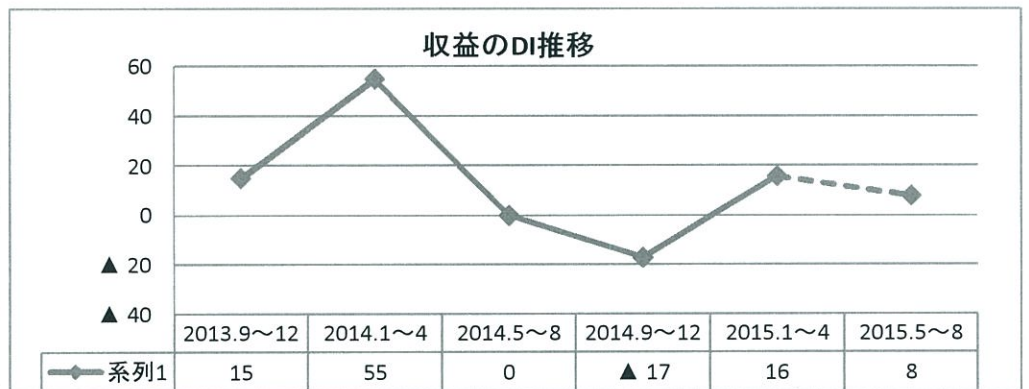
今期の業況は「良い」41.7%、「変わらず」33.3%、「悪い」25.0%でD.I.16となっており、前期(▲17)に比べ大きく改善されています。
来期の業況はD.I.▲7と再び落ち込む模様です。



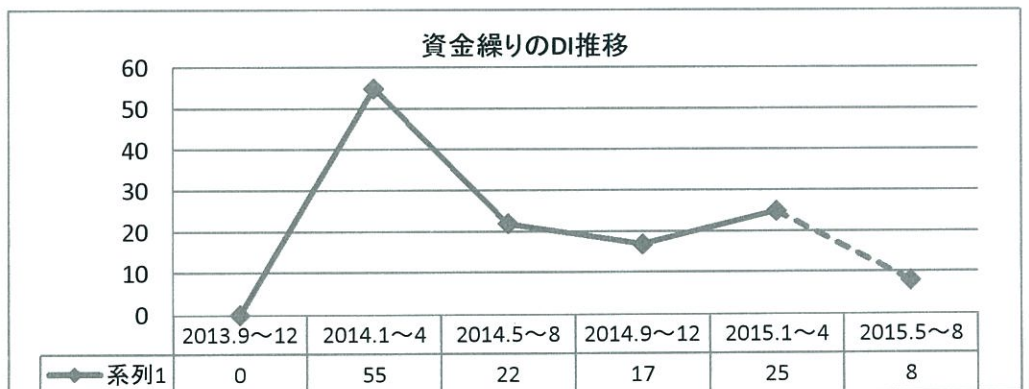
今期の売上は「良い」41.7%、「変わらず」41.7%、「悪い」16.6%でD.I.25となっており、前期(17)に比べ微増しています。
来期の売上はD.I.0と再び下降する見通しです。



今期の収益は「良い」33.3%、「変わらず」50.0%、「悪い」16.7%でD.I.16となっており、前期(▲17)に比べ上昇しています。
来期の収益はD.I.8と再び下降する見通しです。

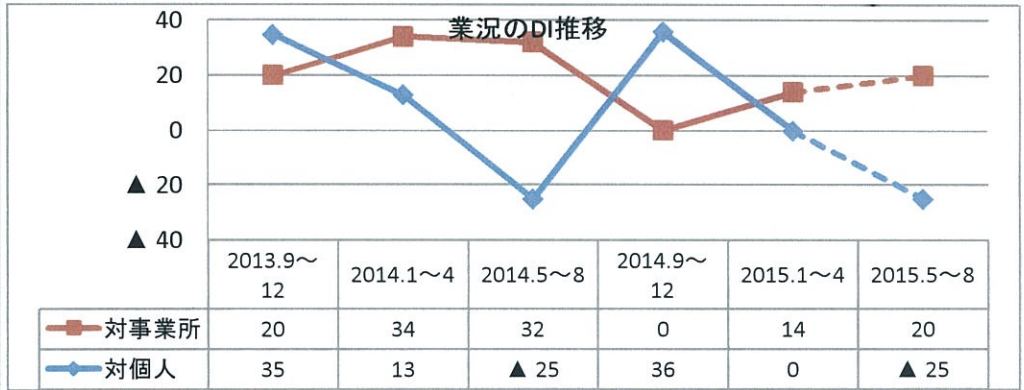


今期の資金繰りは「良い」33.3%、「変わらず」58.3%、「悪い」8.4%でD.I.25となっており、前期(17)に比べ微増しています。
しかし来期の資金繰りは(8)と多少落ち込む模様です。

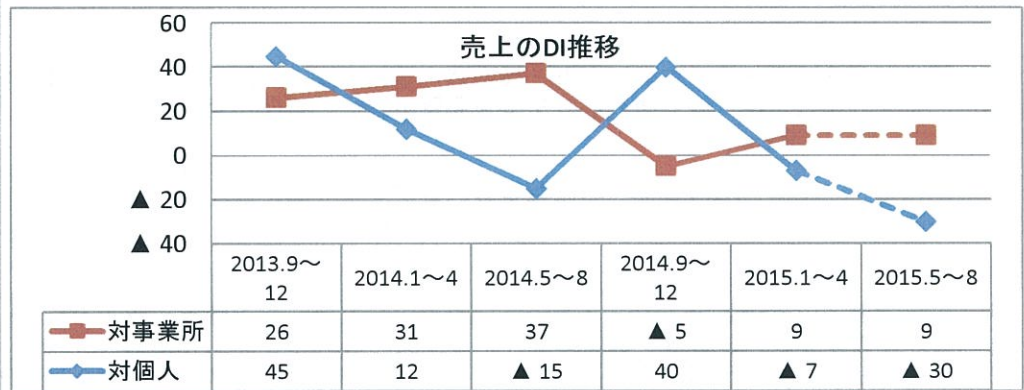


サービス業

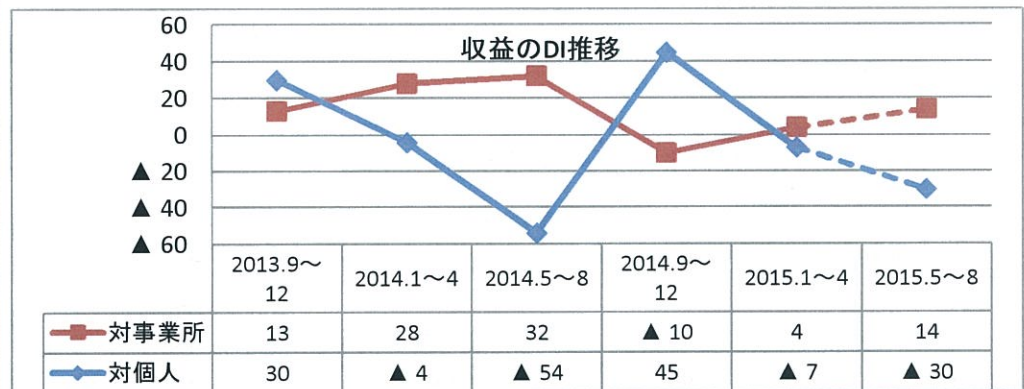
今期の対事業所向けの業況は「良い」28.6%、「変わらず」57.1%、「悪い」14.3%でD.I.14となっており、前期(0)に比べ上昇している状況です。来期の業況はD.I.20と更に上昇する見通しです。
対個人向けは「良い」30.85%、「変わらず」38.5%、「悪い」30.3%でD.I.0となっており、前期(36)に比べ大幅に下降しています。来期はD.I.▲25と更に下降する見通しです。



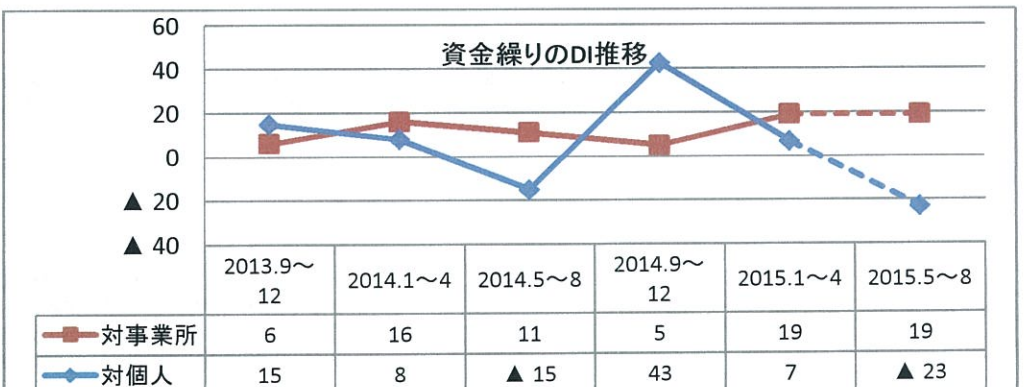
今期の対事業所向けの売上は「良い」19.8%、「変わらず」71.4%、「悪い」9.6%でD.I.9となっており、前期(▲5)に比べ大幅に上昇しています。来期の売上もD.I.9と横ばい状態の見通しです。
対個人向けは「良い」23.1%、「変わらず」46.2%、「悪い」30.7%でD.I.▲7となっており、前期(40)と比べ大幅に下降しています。来期はD.I.▲30と更に大きく下降する見通しです。



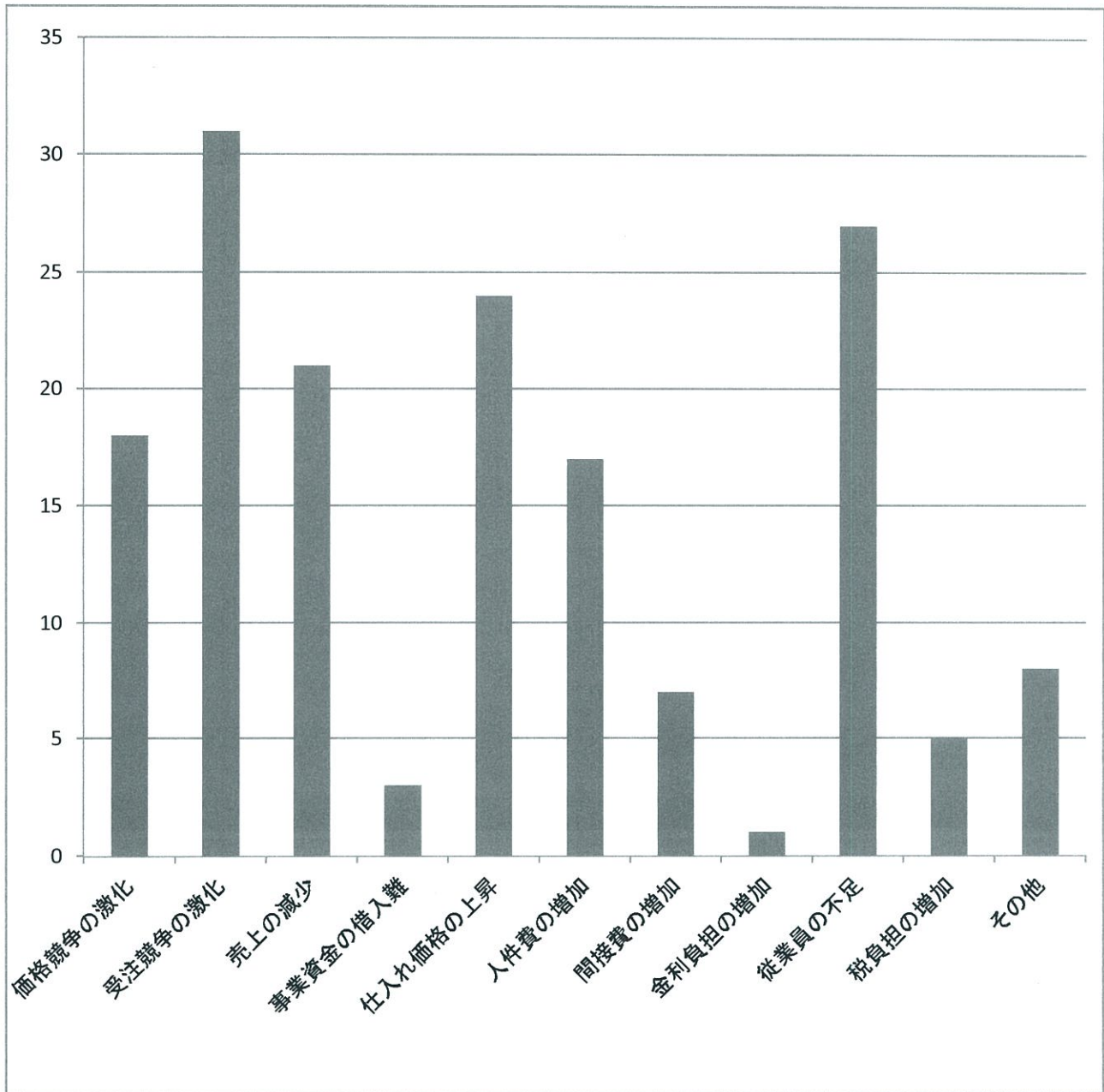
今期の対事業所向けの収益は「良い」14.3%、「変わらず」76.2%、「悪い」9.5%でD.I.4となっており、前期(▲10)に比べ上昇しています。来期の収益はD.I.14と更に改善する見通しです。
対個人向けは「良い」30.8%、「変わらず」30.8%、「悪い」38.5%でD.I.▲7となっており、前期(45)に比べ大幅に落ち込みました。来期はD.I.▲30と更に下降する見通しです。



今期の対事業所向けの資金繰りは「良い」19.0%、「変わらず」81.0%、「悪い」0%でD.I.19となっており、前期(5)に比べ上昇しています。来期の資金繰りはD.I.19と横ばい状態の見通しです。
対個人向けは「良い」23.19%、「変わらず」61.5%、「悪い」15.4%でD.I.7となっており、前期(43)に比べ大きくダウンしています。来期はD.I.▲23と更に下降する見通しです。

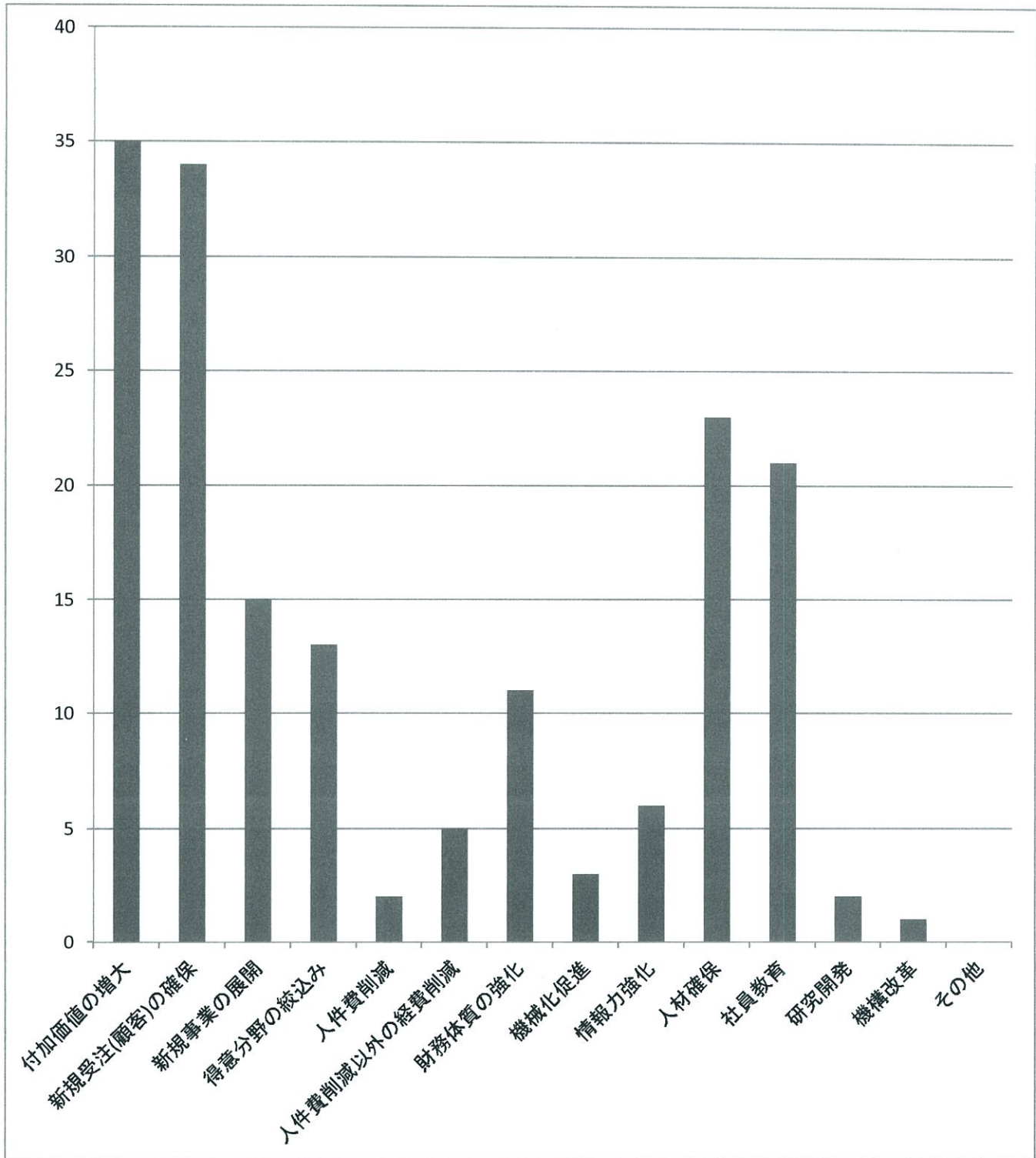


経営上の問題点



カテゴリー	件数	ウエイト
価格競争の激化	18	11%
受注競争の激化	31	19%
売上の減少	21	13%
事業資金の借入難	3	2%
仕入れ価格の上昇	24	15%
人件費の増加	17	10%
間接費の増加	7	4%
金利負担の増加	1	1%
従業員の不足	27	17%
税負担の増加	5	3%
その他	8	5%

経営上の力点



カテゴリー	件数	ウエイト
付加価値の増大	35	20.5%
新規受注(顧客)の確保	34	19.9%
新規事業の展開	15	8.8%
得意分野の絞込み	13	7.6%
人件費削減	2	1.2%
人件費削減以外の経費削減	5	2.9%
財務体質の強化	11	6.4%
機械化促進	3	1.8%
情報力強化	6	3.5%
人材確保	23	13.5%
社員教育	21	12.3%
研究開発	2	1.2%
機構改革	1	0.6%
その他	0	0.0%